セ・パ交流戦

31日

◇日本ハム－巨人最終戦（巨人2勝1敗、13時、エスコンフィールド、34026人）

巨　人000000000　0
日本ハム00200010×　3

▽勝 北山9試合4勝2敗 ▽S 柳川19試合1勝14S ▽敗 竹丸9試合5勝4敗 ▽本塁打 万波12号①（竹丸）▽二塁打 佐々木、郡司、松本▽盗塁 水野（6）▽与死球 北山（浦田）▽試合時間 2時間42分

郡司 光る一打

チーム一体 3タテ阻止

【日本ハム－巨人】3回、先制の2点二塁打を放つ日本ハムの郡司

阪神に3連勝して交流戦をスタートしたが、本拠地で巨人に2連敗。日本ハムは投打一体となって勝利をもぎ取り、3タテを阻止した。

試合が動いたのは三回。2死から9番奈良間がチーム初安打を放って出塁した。水野も続いて好機をつくり、打席にはこの日2番に入った郡司。竹丸のチェンジアップをうまく捉えた打球は、左翼フェンスに直撃した。走者2人をかえす先制の二塁打。「（体が）開かずに最後にバットが出てきて、いい打ち方をした」と手応えを口にした。好機が少なかっただけに価値ある一打だった。

七回には万波が10試合ぶりの本塁打で貴重な追加点をたたき出した。真ん中付近のチェンジアップを捉えた痛烈な当たりは、中越えの特大弾。新庄監督は「いやあ、飛んだね」と驚きの表情。「センターでも万波君のパワーなら入る。きょうのホームランでどう変わるかまた楽しみ」と期待した。

投げては先発の北山が再三のピンチで耐えて6回無失点。救援陣も踏ん張り、得点を許さなかった。北山は「きょうは勝つことが一番だった。流れを渡さずに投げることだけにフォーカスしていたので、仕事ができたと思う」。チームは現在4位。この白星をきっかけに波に乗りたいところだ。

タカ4連勝

◇ソフトバンク－広島最終戦（ソフトバンク3勝、13時、みずほペイペイドーム福岡、39805人）

広　島000000010　1
ソフトバンク00000300×　3

▽勝 徐若熙5試合2勝3敗 ▽S 杉山14試合1敗7S ▽敗 岡本9試合3勝3敗 ▽本塁打 栗原16号②（岡本）▽二塁打 モンテロ、ファビアン、牧原大、近藤、小園▽盗塁 周東（13）庄子（5）▽試合時間 2時間24分

ソフトバンクは投打がかみ合い4連勝。0－0の六回、近藤の適時二塁打と栗原の16号2ランで3点を挙げた。徐若熙は6回無失点で、約2カ月ぶりの2勝目。救援陣がリードを守った。

ツバメ競り勝つ

◇楽天－ヤクルト最終戦（ヤクルト3勝、13時、楽天モバイル、25249人）

ヤクルト100010000　2
楽　天000100000　1

▽勝 奥川8試合2勝4敗 ▽S 清水17試合1勝1S ▽敗 藤井5試合1勝2敗 ▽二塁打 サンタナ、辰己、佐藤▽盗塁 佐藤（1）▽暴投 藤井▽試合時間 2時間56分

オリ四回に5点

◇オリックス－中日最終戦（オリックス2勝1敗、13時1分、京セラドーム大阪、33700人）

中　日040100000　5
オリックス20050000×　7

▽勝 博志7試合2勝 ▽S マチャド19試合16S ▽敗 牧野19試合3敗 ▽二塁打 石川昂3、田中、山中▽盗塁 渡部（10）▽捕逸 石伊▽与死球 メヒア（宗）▽試合時間 3時間12分

山口決勝二塁打

◇ロッテ－阪神最終戦（阪神2勝1敗、13時、ゾゾマリン、29482人）

阪　神001010000　2
ロッテ01000102×　4

▽勝 鈴木20試合4勝1S ▽S 横山24試合1敗19S ▽敗 モレッタ17試合2勝2敗 ▽三塁打 山口▽二塁打 ソト、山口▽盗塁 立石（1）梅野（1）和田（4）▽失策 ソト▽与死球 ロング（高寺）小野（梅野）畠（ソト）▽試合時間 3時間18分

ロッテが接戦を制し、3連敗を免れた。2－2の八回1死一、二塁から山口の2点二塁打で勝ち越した。計6投手の継投で試合をつくり、5番手の鈴木が4勝目。横山が19セーブ目。阪神は九回の好機も無得点で、同一カード3連勝を逃した。

DeNA尾形 移籍後初勝利

◇西武－DeNA最終戦（西武2勝1敗、14時、ベルーナドーム、27586人）

DeNA001210200　6
西　武000000000　0

▽勝 尾形1試合1勝 ▽敗 ワイナンス3試合1勝1敗 ▽本塁打 宮崎4号①（ワイナンス）▽二塁打 蝦名2、佐野▽盗塁三森（8）滝沢（5）▽与死球尾形2（渡部、岸）▽試合時間 3時間8分

DeNAが零封勝ち。尾形は5回を抑えて移籍後初勝利。救援4投手も踏ん張った。打線は三回に蝦名が先制の適時二塁打を放つなど、11安打で6得点。

★山本貴審判員が1500試合出場 日本野球機構の山本貴則審判員（44）は31日、ソフトバンク－広島3回戦（みずぺ）で三塁塁審を務め、通算1500試合出場を達成しました。史上105人目。初出場は2007年4月24日の中日－広島3回戦（ナゴヤドーム）で二塁塁審として。

セ・リーグ成績（31日現在）

	試	勝	敗	分	率	差
①ヤクルト	52	31	20	1	.608	
②阪　神	52	30	21	1	.588	1.0
③巨　人	52	27	25	0	.519	3.5
④DeNA	52	23	27	2	.460	3.0
⑤広　島	50	18	30	2	.375	4.0
⑥中　日	52	19	32	1	.373	0.5

パ・リーグ成績（31日現在）

	試	勝	敗	分	率	差
①西　武	54	31	21	2	.596	
②オリックス	52	30	22	0	.577	1.0
③ソフトバンク	51	28	23	0	.549	1.5
④日本ハム	55	27	28	0	.491	3.0
⑤ロッテ	52	25	27	0	.481	0.5
⑥楽　天	52	19	32	1	.373	5.5

サッカー欧州CL

PSG連覇

アーセナルをPK戦で下す

優勝トロフィーと共に歓喜の声を上げるパリ・サンジェルマンの選手（EPA時事）

【ブダペスト＝時事】サッカーの欧州チャンピオンズリーグ（CL）は30日、ブダペストで決勝が行われ、パリ・サンジェルマン（PSG、フランス）がアーセナル（イングランド）をPK戦の末に下し、2年連続2度目の優勝を果たしました。アーセナルは初制覇を逃しました。1－1のまま延長戦でも決着がつかず、PK戦を4－3で制しました。

PSGは開始早々に失点。攻めあぐねていたものの、後半獲得したPKをデンベレが決めて追い付きました。先蹴りのPK戦では4人が成功。アーセナルは2人目と5人目が失敗しました。

決勝でPK戦にもつれるのは、2015～16年にレアル・マドリード（スペイン）がアトレチコ・マドリード（同）を下して以来。

パリ・サンジェルマン 1970年、パリFCとスタッド・サンジェルマンが合併して誕生。2011年にカタール政府系企業が買収し、豊富な資金力を生かして強豪に。かつてメッシ、ネイマール、エムバペらが在籍した。欧州CLは19～20年に準優勝し、昨季初優勝。今季は国内リーグで5季連続14度目の優勝。本拠地は約4万8000人収容のパルク・デ・プランス競技場。（時事）

偉業達成「最高の夢」

欧州最強クラブを決める決勝戦にふさわしい熱戦。勝負の女神は最後の最後、前回王者にほほ笑んだ。

パリ・サンジェルマン（PSG）は先蹴りのPK戦で、5人目のベラウドが成功。4－3とし、熱狂的サポーターがアーセナルの5人目、マガリャンイスに重圧をかける。ブラジル代表DFが蹴ったボールは無情にもクロスバーの上。終止符が打たれた。

開始早々、中央付近からのクリアが相手に当たって抜け出され、先制された。ゲームプランが狂いかねない展開。それでも相手の運動量が落ちた後半17分、デンベレとのワンツーからクバラツヘリアが倒されてPKを獲得。デンベレが決め、1999～2000年のバルセロナ（スペイン）に並んで最多記録となる大会45点目で振り出しに戻した。

その後の決定機を物にできず、交代で出てきた選手の能力は明らかにイングランドの名門の方が上だった。相手の脅威のセットプレーもしぶとく守り、勝ち越しを許さなかったことが勝利を引き寄せた。

今季の始動日、ルイスエンリケ監督は「優勝は大変だが、連覇はそれ以上に大変だ」と呼び掛けたという。連覇は、2017～18年に3連覇したレアル・マドリード（スペイン）以来の偉業で、現行の大会となってから2クラブ目。ビティーニャは「最高の夢みたい」と喜びに浸った。（ブダペスト時事）

アーセナル「無敗」で涙

悲願のビッグタイトルまであと一歩。アーセナルのアルテタ監督は「ここまで一貫して安定したたたかいをしてきた。PK戦で優勝を逃すのは、本当につらい」。記録上は引き分け。1次リーグから無敗のまま涙をのんだ。

試合をコントロールしていたのは間違いなくアーセナルだった。ボール保持率では上回られたが、相手に流動的に立ち位置を変えられても動じなかった。前半、自陣ペナルティーエリア内でボールを触られたのは数えるほど。1－0の逃げ切りには失敗したが、接戦で終盤戦に持ち込んだのも理想的だった。

延長前半には、ゴール前でイングランド代表マドゥエケが接触を受けて倒れた。ノーファウルの判定に、監督は「今季、今大会の全てのPKを見た。あれは明らかにPKだった」と悔しがった。

2019年12月に就任したスペイン出身の指揮官の下、着実に力を付け、今季は22季ぶりにプレミアリーグを制覇。勝負強さに磨きが掛かり、機は熟していた。中心選手のライスは「この結果だけでわれわれが定義付けられることはない。前向きに、前進を続ける」と気丈に話した。（ブダペスト時事）

J1 百年構想リーグ

プレーオフ

▽アイスタ（13948人）
清　水1（0－0、1－1）1横浜M
▽得点者【清】小塚（56分）【M】谷村（72分）

▽JFEス（13695人）
岡　山1（0－0、1－1）1浦　和
▽得点者【岡】ルカオ（48分）【浦】ダニーロボザ（70分）

…30日の記録

▽ベススタ（7317人）
福　岡2（0－1、2－1）2千　葉
▽得点者【福】碓井（54分）橋本（66分）【千】石川（15分）呉屋（87分）

▽ピースタ（17237人）
長　崎1（1－0、0－0）0水　戸
▽得点者【長】マテウスジェズス（1分）

▽サンガS（12503人）
柏　6（3－1、3－1）2京　都
▽得点者【柏】小泉（1分）垣田（39分）杉岡（46分＋）小見（87分、96分＋）久保（90分）【京】新井（2分）ラファエルエリアス（67分）

大リーグ

佐々木好投も4勝目お預け

【ロサンゼルス＝時事】米大リーグは30日、各地で行われ、ドジャースの佐々木はフィリーズ戦に先発し、六回途中まで3安打1失点と好投しましたが、後続が逆転を許して4勝目はお預けとなりました。3勝3敗のまま。チームは3－4で敗れ連勝が6でストップ。大谷は1番指名打者で出場し5打数1安打でした。

ホワイトソックスの西田は9番中堅で出て3打数1安打1打点。チームは7－1で快勝して4連勝。ブルージェイズの岡本はオリオールズ戦に5番三塁で臨み、4打数1安打2打点。チームは5－6で逆転サヨナラ負けしました。

カブスの鈴木はカージナルス戦に6番右翼で出て、5打数1安打。レッドソックスの吉田はガーディアンズ戦に途中出場し、押し出し四球を選びました。

村上IL入り

【シカゴ＝時事】米大リーグのホワイトソックスは30日、村上宗隆内野手㉖を右太もも裏の肉離れにより、10日間の負傷者リスト（IL）に入れたと発表しました。ベナブル監督によると、復帰まで4～6週間の見込み。村上は「めちゃくちゃ悔しいが、やってしまったことは仕方ない。しっかり前を向いて、少しでも成長して帰ってこられるように頑張りたい」と話しました。

村上は29日のタイガース戦の三回1死一塁で二ゴロを打って全力疾走。併殺を免れましたが痛みを訴え、代走を送られました。

プロ野球ヤクルトからポスティングシステムを利用して移籍し、メジャー1年目。29日時点でア・リーグトップに並ぶ20本塁打をマークするなど、57試合の出場で打率2割4分、41打点の成績を残していました。

前半、突進する東京ベイの木田（中央）

ノーサイド

前半の粘りが後半の攻勢うむ

激しいぶつかり合いが続くなか、ここぞの場面で東京ベイが力を発揮した。埼玉の追い上げを振り切り、2季連続で決勝に進んだ。

前半の粘りが後半の攻勢につながった。前半はほぼ相手陣22㍍ライン内に入れなかった。それでも、トライラインを背にした守備で我慢した。しっかり体を当てて耐え、南アフリカ代表フッカーのマークスが密集でからみ、2度の反則を引き出してしのぐ。

数的優位となった35分すぎの好機を逃さず決めた。22㍍内の右ラインアウトから展開し、一時的な交代で入っていたバイレアがトライ。3点リードで折り返した。

後半は立ち上がりからPGとトライで先行し、優位に。埼玉のトライ後のゴールキックをバイレアがたたき落とすなど、終盤まで流れを渡さなかった。

埼玉の坂手主将は、前半の好機を生かしきれず「ゲームの大きなところを決めてしまった」と悔やんだ。

東京ベイのルディケ・ヘッドコーチは「瞬間、瞬間にどれだけ勝てるかが大事。80分やってくれた」とたたえた。厳しい試合を勝ちきった勢いに乗って、3季ぶりの優勝をつかみに行く。（佐藤恭輔）

東京ベイ2季連続決勝

ラグビーリーグワン　プレーオフ

31日、東京・秩父宮ラグビー場で今季王者を決めるプレーオフ準決勝の残り1試合が行われ、リーグ戦3位の東京ベイが同2位の埼玉を26－24で破り、2季連続の決勝進出を決めました。

東京ベイは前半を10－7で折り返し。後半はWTB木田のトライや、PGで得点を重ね、終盤は埼玉の猛追を振り切りました。

東京ベイは3季ぶりの優勝を目指し、6月7日の決勝（東京・MUFGスタジアム）で初制覇が懸かるリーグ戦1位の神戸と対戦します。

★SH斎藤がトゥールーズ退団 ラグビー日本代表のSH斎藤直人（28）が、所属するフランス1部リーグの強豪トゥールーズを今季限りで退団することが31日、明らかになりました。2024年7月にリーグワンの東京SGから移籍し、2季プレーしました。関係者によると、来季は日本でプレーする見通し。（時事）

女子ゴルフ

河本 今季2勝目 PO制す

女子ゴルフのリゾートトラスト・レディース最終日は31日、福島・グランディ那須白河GC（パー72）で行われ、河本結が通算10アンダーで並んだ吉沢柚月とのプレーオフを制し、国内メジャー初戦のワールドレディース・サロンパス杯に続く今季2勝目、ツアー通算6勝目を挙げました。

首位と2打差の2位で出て、1イーグルを奪うなど68をマーク。18番で行われたプレーオフは、2ホール目のバーディーで決着をつけました。

セキ・ユウティン（中国）が通算9アンダーの3位、神谷そらと63を出した荒木優奈が8アンダーの4位。6位の政田夢乃は8番（パー3）でホールインワンを達成しました。

ノリスが優勝

男子ゴルフ

男子ゴルフのミズノ・オープン最終日は31日、岡山・JFE瀬戸内海GC（パー72）で行われ、首位で出たショーン・ノリス（南アフリカ）が通算24アンダーで優勝しました。昨年6月のハナ銀行招待以来となる日本ツアー通算9勝目。

松山5位に後退 3打差で最終日

米男子ゴルフ

【フォートワース（米テキサス州）＝時事】米男子ゴルフのチャールズ・シュワブ・チャレンジは30日、テキサス州フォートワースのコロニアルCC（パー70）で第3ラウンドが行われ、2位で出た松山英樹は1バーディー、1ボギーの70とスコアを伸ばせず、通算9アンダーのままで5位に後退しました。首位のエリック・コール（米国）とは3打差。

71で回った中島啓太は通算4アンダーの27位。金谷拓実は65位、久常涼は72位となりました。

★岩井姉妹、そろって2位 米女子ゴルフのショップライトLPGAは30日、ニュージャージー州ギャロウェーのシービュー・ホテル&GCベイC（パー71）で第2ラウンドが行われ、31位から出てともに68をマークした岩井明愛、千怜姉妹が通算4アンダーと伸ばし、首位と4打差の2位につけました。吉田優利が通算イーブンパーで28位。原英莉花と西村優菜は3オーバーの61位。馬場咲希、桜井心那、渋野日向子は予選落ちしました。（時事）

大坂の次戦はサバレンカと

全仏テニス

【パリ＝時事】テニスの四大大会第2戦、全仏オープンは30日、パリで行われ、女子シングルス3回戦で第1シードのアリーナ・サバレンカ（ベラルーシ）がダリア・カサトキナ（オーストラリア）を6－0、7－5で退けました。初の4回戦進出を決めた元世界ランキング1位の大坂なおみ（フリー）と次戦で当たります。前回覇者のコリ・ガウフ（米国）は敗退。

女子ダブルス2回戦で二宮真琴（エディオン）ナディア・キチェノク（ウクライナ）組は、穂積絵莉（日本住宅ローン）呉芳嫻（台湾）組を破り3回戦に進みました。

男子シングルスではマッテオ・ベレッティーニ（イタリア）らが3回戦を突破しました。

★安楽、開幕3連勝 スポーツクライミングのワールドシリーズは30日、マドリード近郊でボルダー第3戦が行われ、男子決勝で安楽宙斗（JSOL）が優勝し、開幕3連勝としました。（時事）

大学野球

◇東京六大学（31日、神宮）▽②1勝1敗

早大　010　100　102×　5
慶大　101　002　000　4

勝岡村1勝 敗渡辺和6勝2敗 因徳丸2号①（広池）霜2号①（鈴木佳）

★ロブチェンが2冠達成 中央競馬の3歳クラシックレース最高峰、第93回日本ダービー（GⅠ）は31日、東京競馬場の芝2400㍍コースに18頭が出走して行われ、松山弘平騎乗で1番人気のロブチェンが2分22秒7で優勝しました。4月の皐月（さつき）賞と合わせて2冠を達成しました。2着は4番人気のパントルナイーフ、3着は11番人気のバステール。

きょうのスポーツ

◆野球＝東京六大学　早大×慶大（13時、東京・神宮球場）